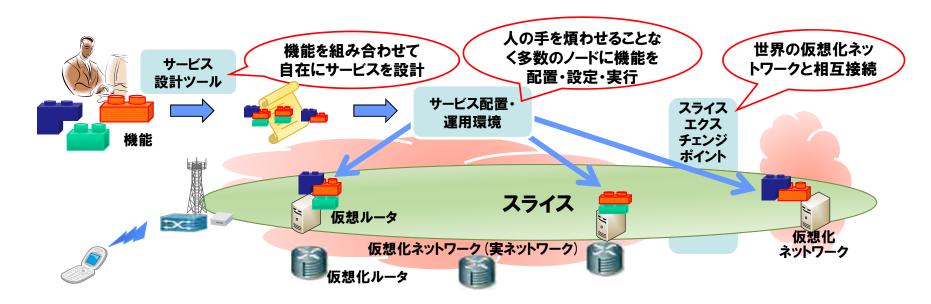


3. ユーザセントリックNW (NW仮想化)

- ユーザの多様なニーズに応える柔軟なネットワークサービスを提供
 - 革新的サービスを既存インフラ(実ネットワーク)を変更せず早期に開発・展開
 - 「誰もが創れる」「誰もが利用できる」ネットワーク機能提供

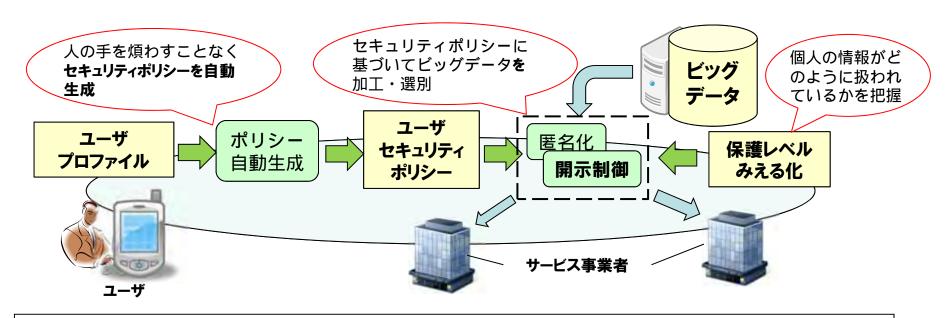


- 実現技術:自律的なネットワーク資源の最適化、クラウドとネットワークの融合、新しいルーティング技術
- 効果:災害・輻輳に対する自動復旧、通信とコンピューティングが融合した新サービス、M2Mやコンテンツ配信に最適化したネットワーク



3. ユーザセントリック・セキュリティ

- ユーザの意思に基づき情報を流通制御できる安心・安全な情報通信基盤
 - プライバシー情報を含んだビックデータを流通させる際に、ユーザの意思に基づいた流通 基盤を実現
 - ソーシャルネットワーク上の発言を解析する技術が発展し、ネットいじめや「炎上」を未然 に防止など

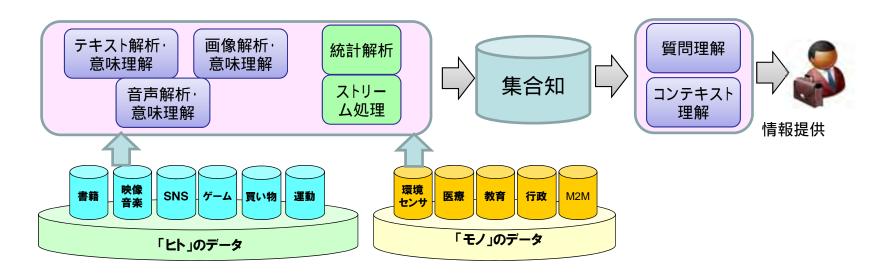


- 実現技術: ユーザの意思を反映できるフレキシブルな匿名化技術、ユーザ ブルなセキュリティポリシー管理技術、保護レベルの見える化技術
- 効果:ユーザが安心して、ネットに個人の情報を預けることができ、ビッグデータが流通促進、ICTに基づく社会インフラの整備・発展が期待される。



3. ユーザセントリックなビッグデータの活用

- ユーザの意図を汲んだ情報を提供したり、新たな知識を見出す
 - あいまいな、或いはうろ覚えの質問にも、意図を見抜いて情報を提供
 - 人のデータのみならず、「もの」のデータも組み合わせて知識を抽出
 - 構造化データのみならず、テキスト、画像、音声等の非構造データも認識
 - マイニングの自動化により、新たな知識を効率的に発見



- 実現技術:テキスト・音声・画像の意味理解技術、集合知の自動構築技術、ユーザコンテクスト検出技術、質問の意図検出と最適回答作成技術(IBM Watson的なシステム)
- 効果: 大量のデータから効率的に情報検索、とりあえずデータを取得すれば自動的に 分類整理され知識が構築、ユーザの意図を汲んだ情報を提供